

### 〔3 収容定員・コースの変更〕

#### ① 基準対象コースの設置状況

- (1) 基準対象コースとは、「留学」の在留資格により日本語の学習を主な目的として来日し、滞在する外国人を受け入れることを目的として設置されているコースをいう。  
なお、ここでいう「コース」とは、専修学校における学科、あるいは各種学校における課程のように、当該日本語教育機関において最も基本的な一つのまとまりのある履修の課程を指すものと考え、例えば、大学等への進学を目的とした「大学進学コース」や基礎的な日本語の習得を目的とする「普通コース」のように記入し、各コースの中にさらに設置される「初級」「中級」「上級」などの習熟度別のレベル別クラスと混合しないこと。
- (2) 「コース名」は、「大学進学2年コース」、「一般1年コース」など当該日本語教育機関において実際に用いられる名称を記入する。
- (3) 「目的」は、「大学進学準備のため」など当該コースの設置目的を簡潔に記入する。
- (4) 「修業期間」は、「1年」、「1年6か月」、「1年9か月」、「2年」のように年、月で記入する。
- (5) 「授業時間数」は、「760時間」とか「900時間」のように、修業期間中の日本語教育のみの授業総時間数を記入する。  
また、右上「1単位時間」欄には、授業時間を何分間で1単位時間としているかを記入する。「授業時間数」等の記入に当たっては、当該日本語教育機関が使用している1単位時間を1時間として計算する。
- (6) 「授業時間帯」は、例えば「8：30～12：10」のように各コースの開始時刻と終了時刻を記入する。
- (7) 「始期及び終期」は、修業期間が何月に始まり、何月に終わるのかを記入する。  
例えば、修業期間が1年の場合は、「4月～3月」、1年6か月の場合は、「10月～3月」のように記入する。  
なお、進学コースは3月終期以外の終期は認められないので、注意すること。
- (8) 「授業週数」は、修業期間中授業を行う週が何週あるのか、例えば「38週」のように記入する。
- (9) 「1週当たり授業時間数及び授業日数」は、1週間に授業を行う時間数が何時間あるのか、また、何日あるのか、例えば、「20時間（5日）」のように記入する。
- (10) 「クラス数」は、当該コースに設けられるクラス数を記入する。
- (11) 「1クラス当たり最大数」は、当該コース等に設けられるクラスのうち、最大の生徒定員を記入する。
- (12) 「日本語教育機関の規則」等と整合させること。

〔3 収容定員・コースの変更〕

② 基準対象コースのレベル別概要

- (1) 各コースごとに作成する。例えば、進学1年コース（1部と2部で同じ内容である場合は、同じコースとして扱うこと）、一般1年コース、進学1年6か月コース、進学2年コースがある場合は、4コースについて、それぞれ作成することとなる。
- (2) 「レベル別名」は、当該コースに設けられているレベル別のすべてのクラスの具体的な名称を記入する。例えば、「大学進学2年コース」に、「初級」、「中級」、「上級」の3つのレベルがあり、さらにそれぞれのレベルごとに3つずつA、B、Cの段階を設ける場合、「初級A」、「初級B」、「初級C」、「中級A」・・・「上級C」までの9段階すべてを記入すること。  
なお、9段階以上の段階を設ける場合は、本様式を複写して記入すること。
- (3) 「授業内容の概要」の欄には、文法、会話等実際の授業でどのようなことを教えるのか簡潔に記入する。
- (4) 「1クラス収容定員」は、当該クラスの生徒の定員数を記入する。ただし、同じコースのうち、生徒の定員数が異なる場合は、下記例にならない収容定員を記入する。
- (5) 「コース別授業時間割」と整合させること。

例

| コース名  |       | 時 間 数   |                  |           | 授 業 内 容 ( 概 要 )  | 使 用 主 教 材                          | 1クラス<br>収容定員  | 使用教<br>室番号          |
|-------|-------|---------|------------------|-----------|--|------------------------------------|---------------|---------------------|
| レベル別名 |       | 授業を行う週数 | 1週当たり授業<br>時間数   | 授業時間数合計   |  |                                    |               |                     |
| 1     | 初 級 A | 10<br>週 | 20<br>時間<br>(5日) | 200<br>時間 | 日本語の発音、表記に慣らす。<br>基本会話、文型の習得。漢字約<br>150字               | 初級日本語(0000)<br>しんにほんごのき<br>そ       | 15<br>}<br>20 | 1, 3,<br>5, 7,<br>9 |
| 2     | 〃 B   | 10      | 〃                | 200       | 文法の基礎、語彙力の向上、実<br>用会話、漢字約 300字                         | 日本語2 (0000)<br>表現文型1・2 (00)        | 〃             | 〃                   |
| ~~~~~ |       |         |                  |           |  |                                    |               |                     |
| 7     | 上 級 B | 10      | 〃                | 200       | 高度の文法、語彙の習得、ドラマ・<br>ニュース等生情報を基に日本語の<br>背景を学ぶ。漢字約5,000字 | 生教材（新聞・ニ<br>ュース・ドラマ等<br>）<br>日本語文法 | 〃             | 〃                   |
| 8     | 〃 C   | 10      | 〃                | 200       | 小論文等の訓練、語彙の適切な<br>使用、より高度な表現の習得。<br>漢字約 8,000字         | 日本語作文2<br>長文総合問題集<br>外             | 〃             | 〃                   |

注：初級A、B、中級A、B、C、上級A、B、Cの8段階がある場合